

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (東北)	◎	衣料品専門店（店長）	・前年は新型コロナウイルスの影響で、業界の肝である入学式や入社式が中止、延期になるという事態になり、大きく打撃を受けた。今年は今のところそのような動きにならないとみているので、春の準備をする客が順当に来店すれば、業界の景気は上向きになると予測している。
	○	一般小売店〔酒〕（経営者）	・現在、東京の業務店からの注文がない。業務店の再開を期待している。
	○	一般小売店〔寝具〕（経営者）	・春に向けて進学、就職等があるので仕立てが増える気がする。新型コロナウイルス感染が収束しない限り客先訪問ができないことが手痛い。
	○	百貨店（売場主任）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が開始となり、終息へ向けた期待感から消費マインドが上がるものと考えられる。
	○	百貨店（営業担当）	・前年の緊急事態宣言による自粛と比べ、ワクチン接種の推進もあるため、感染に留意しながら人の動きが活発になり、旅行や市町村のイベントなどの屋外活動も実施されることが想定される。
	○	百貨店（経営者）	・最近の新型コロナウイルス感染者数の減少や、ワクチン接種の開始により、安心感から多少消費マインドは上がってくるとみている。ただし、旅行がまた始まると、百貨店などのショッピングはむしろマイナスの影響が出るかもしれない。
	○	スーパー（経営者）	・豪雪から春になり、さらに新型コロナウイルスのワクチン接種が始まれば、気持ちも上向き客の動きも良くなる。
	○	コンビニ（経営者）	・来客数が戻らず低い営業数値となっているが、客単価や買上点数は前年同期を上回ってきている。徐々に上向きに転じるのではないかと期待はしているが、いずれにせよ客の出足いかんである。
	○	コンビニ（経営者）	・冬よりは良くなるが、イベント等の状況次第では厳しい状況になる。先が全くみえない。
	○	コンビニ（経営者）	・季節要因もあるが、新型コロナウイルス感染者の減少が来客数及び販売量の増加に大きく影響すると推測される。
	○	コンビニ（経営者）	・現在は新型コロナウイルスの影響で人が動いていないが、新規感染者の減少で落ち着いてきたことと、暖かくなってくることにより、少しずつ人出が戻ってくるとみている。
	○	コンビニ（エリア担当）	・緊急事態宣言解除による消費マインド拡大が予測される。また、前年は3～5月と大きく売上を落としていたため前年比では売上は上がる。
	○	コンビニ（エリア担当）	・春～夏の最盛期へ向かう時期になる。また、人の移動も出始める。
	○	コンビニ（店長）	・2～3か月先、ワクチンが各自自治体に配られ安心感も出てきて、人が出てくるようになれば、前年比では相当改善されていくのではないかとみている。そういう方向に向かうよう、皆で協力して感染対策をしながら活動していければいいのではないかと。
	○	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルス感染対策のワクチンの普及に期待している。
	○	衣料品専門店（経営者）	・春らしくなり、新型コロナウイルスの終息が少しずつ見えてくれば、購買意欲も出てくる。
○	家電量販店（店長）	・ワクチン接種が始まってくれば、安心感から消費が増えてくるとみている。	
○	家電量販店（従業員）	・東京オリンピックが開催されるという前提だと、テレビ、レコーダー関係が間違いなく上向きになっていく。新型コロナウイルスワクチンの接種が進んでいけば、アウトドア関連商品も動きが活発になってくるので期待できる。	
○	乗用車販売店（従業員）	・4月末に新型車の発表もあり、発表に向けた事前活動も順調に進んでいる。今後商談確約を得られれば、新型車納期にあわせて売上につながっていくとみられる。	
○	その他専門店〔酒〕（経営者）	・緊急事態宣言の解除や新型コロナウイルスのワクチン接種等、状況が改善される動きを期待している。逆にこれ以上悪くなれば、飲食関連や中小企業の一般流通販売が維持できないのではと危惧している。	

○	その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	・新年度を迎えるに当たり、流通を始め物の動きは今よりは格段に良くなる。しかし、前年比での実績ベースでどれくらいまで上げられるかは未知数である。春先の感染者数によって大きく変わってくるとみているが、消費者の我慢も限界がきている。行動規制がもう少し緩くなればバブルのような大きな消費行動に走るのではないかと予想している。
○	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・新型コロナウイルス感染症防止のための対策等が解かれることにより、車両移動が増加し、販売量が増加することを見込んでいる。
○	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・新型コロナウイルス感染者の減少やワクチンの普及により、今後消費マインドが戻ってくることが予想される。
○	一般レストラン（経営者）	・ワクチン接種が始まったことと、感染者が少し減少したということで、今よりは多少客が来るのではないかと期待している。しかし、外食ということ自体が客の日常から失われてしまったのではないかと心配もある。
○	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスワクチンの接種が始まってきているので、それに期待しているが、やはり時間は掛かる。3月は歓送迎会があるので、一番悪いときと比べれば若干良くなるのではないかとみている。
○	観光型ホテル（経営者）	・先のことは見通せない現状ではあるが、新型コロナウイルス感染が収束しつつあるとみられるので、今後の景気は良くなってくると期待したい。
○	観光型旅館（経営者）	・1～2月は最悪だったので、暖かくなり感染状況も落ち着けば多少は今より良くなるのではないだろうか。
○	旅行代理店（従業員）	・3月7日に緊急事態宣言が全面解除される可能性が大きい。Go To Travelキャンペーンも限定的に再スタートし、旅行者が感染防止を意識しながら動き出す可能性が高くなりつつある。
○	旅行代理店（従業員）	・緊急事態宣言が解除され、Go Toキャンペーンが復活すればやや良くなる。それ以外に良くなる要素は考えづらい。
○	タクシー運転手	・客と話をしている「緊急事態宣言解除」と「ワクチン接種が始まる」というワードを多く耳にするようになったことから、新型コロナウイルスに対する恐怖心が薄れてきていることが推察される。それが今月の営業回数増加につながっているとみられる。高齢者への接種が終われば、コロナ禍前に少しずつ戻ると考えられる。
○	通信会社（営業担当）	・これからは、会社員、学生も自宅でのオンラインでの会議、セミナー、講義、補習授業等へ参加することが当たり前となり、インターネットを中心とした新しい生活様式が標準化していくことが予想される。このため通信需要はますます増えていくとみている。
○	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスワクチンの接種が予定どおり始まれば、今よりも市場に動きが出るとみている。
○	テーマパーク（職員）	・新型コロナウイルスや地震が落ち着き、来客が増え、購入率の増加にもつながることを期待している。
○	観光名所（職員）	・現在、舟下りは予約客のある日のみ営業しているが、3月からは土日月と3日間は予約がなくても営業するという方向に向いている。店もこの営業日にあわせて開店するので、休業日数が減ることになる。徐々にではあるが上向きになりつつある。また、新型コロナウイルスのワクチン接種も始まり、少しずつ良い方向に向かっていくという感じがする。振り客も営業日にあわせて来るようになっており、まだ関東方面、関西方面までは広がっていないが、近県からの客が増えている。やや持ち直してきている感じがある。
○	観光名所（職員）	・新型コロナウイルスの感染状況が改善することが条件となるが、気候が良くなり、花見客などで来場者自体は増加することが予想される。前年は自粛期間で花見ツアーが全てキャンセルとなったが、今年は開催されることを切に願っている。
○	美容室（経営者）	・2～3か月後になれば、一般の人への新型コロナウイルスのワクチン接種も始まるので、そうなれば徐々に安心感も出てきて、客も戻ってくるとみている。

○	その他住宅〔住宅展示場運営会社〕（従業員）	・来場者数の急増はないが、現在来場している1年以内に住宅購入を検討するとしている客に加えて、2～3年以内で検討する客の来場が増加することを見込んでいる。
□	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が多少増えてくると、暖かくなることにより、気持ちも和らいでくるのではないかとことから期待している。
□	商店街（代表者）	・卒業、入学の時期がこれからくるので大いに期待しているが、現状では商店街を訪れる人の数、各店舗への来客数が減っている。今後は個店の売上維持に努めていきたい。
□	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が開始されるものの、当面は新型コロナウイルス感染の不安は払拭されず、外出を控え消費を抑える傾向が続くとみている。
□	商店街（代表者）	・全国的に自粛が解除されるので、先行きの不安感は少なくなる。しかし、急激な緩和やGo To Travelキャンペーンの再開等は逆にその後のリバウンドへの不安にもつながる。
□	商店街（代表者）	・景気が低迷した状態はしばらく続く。
□	一般小売店〔書籍〕（経営者）	・今は全体的には消費はあふれているという印象を受ける。しかし、株価が非常に上がっているということで、若者は株に金を回しており、小売業の消費マインドは更に落ちていくのではないかとみている。
□	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・4～5月に掛けてのワクチンの接種状況が非常に曖昧なので、ワクチン接種が進むまでは、現在の非常に悪い状態が続くとみている。
□	一般小売店〔酒〕（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチンの接種が開始されたとはいえ、この状況が好転する兆しは全く見えない。助成金もいつまでもらえるか分からないような状況でどう経営を続けていくのか苦境に立たされている。
□	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・報道されている内容から考えると店の売上や来客数はどんどん低下していきそうなものだが、実際はそうになっていない。何らかの要因で景気は維持されているようである。
□	百貨店（買付担当）	・良くなるのも悪くなるのも新型コロナウイルス次第である。今の状況が続けば新型コロナウイルスと共存することがふだんの生活となり、元に戻ることはなくてもある程度の消費動向は回復すると考える。
□	スーパー（店長）	・売上はほぼ横ばいだが、来客数の減少が続いていることが気になっている。
□	スーパー（企画担当）	・小売業に関しては、まだコロナ禍で内食需要があるので景気は良い。2～3か月はこの状況は変わらないとみている。
□	コンビニ（経営者）	・今度、新型コロナウイルスのワクチン接種が始まる。地区の全員の接種が終わればどう変わるか期待するところはあるが、それまでは横ばいとみている。
□	コンビニ（エリア担当）	・スーパー、ドラッグストアなどの一部業態のみ好調に推移している。今後は前年比では厳しい状況になることが予測される。
□	衣料品専門店（経営者）	・3月は小中高校の制服で何とかしのげるが、新型コロナウイルスのワクチン接種を早急に行い、人出が増えることを期待している。
□	衣料品専門店（経営者）	・春夏物の実売期となるが、例年と比べると来店予約される方が少なく、スローペースになると予測される。
□	衣料品専門店（店長）	・一般人へのワクチン接種がある程度進み、企業の出張等が解禁されたり、旅行に出掛ける人が少しずつ増えたりしてくれば回復の兆しが見えてくるが、現状をみる限り現在の状態が続くことが予想される。
□	衣料品専門店（総務担当）	・コロナ禍の影響は大きく、外出しての購買を極力控える傾向が続いているため、現在の状況が続くとみている。
□	乗用車販売店（従業員）	・半導体の不足により納期の掛かる車が多い。この状況はしばらく続く。
□	乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルス、半導体不足、2月中旬の福島沖地震などで新車は長納期になりつつある。新車が登録にならないので下取り車が入庫しない。下取り車が入庫しないので、中古車市場の動きが鈍い。頼りになるのはサービス売上だが、昨今の若者の自動車離れや高齢者の免許返納により、保有車両の絶対数が減ってきている。新車の需給が改善されない限り、現状維持若しくは悪くなることが予想される。

<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（本部）	・特定の車種のみオーダーが集中する傾向が強く、生産が全く追い付いてこない。反面、既存車両は不人気傾向が色濃く、総数を押し上げるまでもいかない。辛うじてサービス売上が前年比100%なのが救いである。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（経営者）	・3か月先は、ある程度新型コロナウイルスワクチンが普及し、経済活動がこれまでよりは活発になるので、景気も少しずつ上昇するとみている。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（経営者）	・とりわけ好材料も見当たらない現状のまま推移するとみている。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔靴〕（従業員）	・新型コロナウイルス対策を講じているが、集客は増えてこない。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（スタッフ）	・新型コロナウイルスに対しての正しい知識が広がらなければ夜の外出は増えず、夜の予約は入らず、売上も上がらない。昼はアルコールの提供がほとんどないので死活問題である。昼の営業だけでは運営を続けられない。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（支配人）	・前年10月が新型コロナウイルスの第2波が落ち着いた辺りだったので、今月も第3波が収まってきたというところで、その頃と同程度の来客はあった。しかし、新型コロナウイルス次第でどうなるかわからず、先行きが不安である。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・良くなる要素も人が動くような雰囲気もない。悪い状況は変わらない。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（スタッフ）	・株価は上昇しているが、一般の生活者の生活状況は新型コロナウイルスが終息しなければ変わらない。
<input type="checkbox"/>	観光型旅館（スタッフ）	・新型コロナウイルスのワクチンが徐々に出てきており、明るい材料も目立っているが、一般に浸透するにはまだまだ時間が掛かる。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（従業員）	・ワクチン接種、Go To Travelキャンペーンの再開、東京オリンピック開催など国家プロジェクトの実施が大きな鍵となる。いずれも遅れや中止などが決定された場合には、観光業界の将来の景気は確実に今よりも悪化する。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・新型コロナウイルスのワクチン接種の普及次第である。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・東京オリンピック需要で消費動向は上向きになるとみている。建築、建設業界においては、中国から部材が入手できず、工期延期、キャンセルがあり厳しい状況と聞いている。貿易の拡大が景気回復の鍵と考える。2～3か月先も変わらない。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・好転するような材料に乏しい。
<input type="checkbox"/>	遊園地（経営者）	・3月のオープン以降は、前年ほど厳しいことはないともみているが、いずれにしても新型コロナウイルスの感染状況次第である。
<input type="checkbox"/>	競艇場（職員）	・この業界は一度落ち込むと回復するまで時間が掛かる。イベント等で来場促進を促したいが、このご時世それもまた厳しい。今は常連客を大切にしたいのぐしかないので2～3か月たっても状況は変わらないとみている。
<input type="checkbox"/>	美容室（経営者）	・新規客はほとんどいないので変わらない。
<input type="checkbox"/>	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・春が来て暖かくなり、年度が替わり、ワクチン接種が順調に進めば回復してくると期待しているが、3月の卒業、就職、異動、転勤の需要は全くない状態である。
<input type="checkbox"/>	住宅販売会社（経営者）	・新展示場を建築中で、新規受注拡大を進めている。
<input type="checkbox"/>	その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	・コロナ禍が長期化するなかで、畳、ふすま、障子の建具交換並びにハウスクリーニングの問合せが増えている。在宅時間が長くなることで快適に生活するための需要が増えるともみている。
<input checked="" type="checkbox"/>	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・新型コロナウイルスと天候の影響で来客数が落ち込んでいる。外に出ないことに慣れてしまっている状態から回復することは考えにくい。

	▲	スーパー（経営者）	・3月もこれまで同様に観光、飲食、交通機関や小さい会社等は依然厳しい状況が続くと聞いている。一方、新型コロナウイルスワクチン接種が医療関係者から始まり、緊急事態宣言も解除される見通しなので、自粛疲れもある消費にも幾分かの明るい兆しを期待している。だが、各種支援制度等で事業を何とか継続してきたところは、自粛制限の解除で支援等がなくなり、経営環境はこれから一気に限界に近づいていくのではと懸念している。新型コロナウイルスの感染拡大の懸念もまだ大きく、ワクチン接種も始まったばかりなので、人の動きは鈍く、消費の推移は一段下がるのではと危惧している。
	▲	スーパー（営業担当）	・内食需要の高まりにより売上は確保できているが、テイクアウトの需要拡大や収入の減少等により売上は悪化する可能性がある。
	▲	スーパー（営業担当）	・来客数を伸ばすためには、低価格での集客販促を強化していく。
	▲	コンビニ（経営者）	・今年に入って1～2月と連続で来客数が前年比90%付近で推移しており、先行きが不安である。
	▲	衣料品専門店（店長）	・ビジネスではリモートやビジネスカジュアルスタイルが浸透しつつあり、今後更にスーツ離れが加速すると予測される。
	▲	家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの影響で、客も今後の景気動向に不安を感じているようである。過剰な買物を控えており、単価の高いものの買物も慎重になっている。
	▲	その他専門店〔食品〕（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の終息がみえなければ県外客の誘客は困難である。ワクチン接種が始まるが、万人に行き渡るまで半年以上掛かるとみられ、安心できない。ゴールデンウィークの繁忙期も望みは薄い。その頃には感染者数が増加していないことを願う。
	▲	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・県内でも新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生し、消費者の自粛もまた強まるとみられる。
	▲	通信会社（営業担当）	・コロナ禍による影響は甚大である。ワクチンの投与が開始されたが終息までには、向こう2年くらい掛かると考えられ、景気は当面悪くなるとみている。
	▲	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染が沈静化しないと厳しい。
	×	スーパー（経営者）	・第4波懸念で財布のひもが固く締まってきていて、なおかつ地元企業に倒産の傾向が現れ出している。
	×	スーパー（店長）	・前年3～5月は非常に売上が伸びた時期なので、前年実績ベースだと数値的に厳しくなる。
	×	スーパー（店長）	・現在の売上自体が悪くなるのではなく、売上が良すぎた前年の数字を割り込んでしまう可能性を危惧している。
	×	住関連専門店（経営者）	・現在コロナ禍で営業がなかなかうまく動けない。また、テレワーク等を活用しながら手当はしているが、なかなか受注に結び付かない。受注量の減少によって悪くなる。
	×	高級レストラン（経営者）	・良くなる要素は特にない。
	×	タクシー運転手	・コロナ禍にあつて、我々の生活レベルは落ちたままで浮上してこない。ワクチン接種が始まっても同じ傾向は続くと思う。政府には早急に対策を実施してもらいたい。
	×	設計事務所（経営者）	・コロナ禍における経済の縮小に加え、震災から10年を経て復興特需が終了し関連する建設が一段落した今、一気に景気が悪化すると予測している。
企業 動向 関連	◎	食料品製造業（営業担当）	・ワクチン接種が始まることに加え、3月は人が移動する月であること、4月以降は東北デスティネーションキャンペーンもあることから、大いに期待したい。
(東北)	○	金属製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況、特にワクチンの効果検証が出てくると、それによって景気の動向が変わると考えている。良い結果が出れば、受注状況の改善が更に進む。
	○	電気機械器具製造業（企画担当）	・半導体製品の受注価格、販売価格は、しばらくは安定し、上昇もすると考えられ、会社業績や一般社員の景気も良くなるとみている。
	○	電気機械器具製造業（営業担当）	・ワクチン接種拡大により新型コロナウイルスの影響がなくなること期待している。
	○	建設業（従業員）	・交渉中の複数事業の見通しがつく時期になる。

○	金融業（広報担当）	・前年は自粛した春季の祭りが今年は開催される方向で進んでいる。ワクチン効果はもう少し先になるとみられるが、Go Toキャンペーンが再開されると第3波収束への期待感もあいまって消費は盛り上がりを見せるものと予想している。
○	広告業協会（役員）	・現在のような感染者数の減少状況が続けば、観客数は制限されてもプロ野球やJリーグが開幕され、前年は中止に追い込まれたイベント、地域の祭り、Go Toキャンペーンなどが復活し、景気上昇ムードが醸成される。
○	広告代理店（経営者）	・当社の業績が前年比で8～9割まで持ち直してきている。
○	経営コンサルタント	・感染者の減少傾向に加え、ワクチン接種も始まり、新型コロナウイルス終息への希望が消費の背中を押すことを期待している。
○	その他非製造業〔飲食品卸売業〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第で変わっていく。新型コロナウイルス感染症にかかる人が減っていく状況が続けば景気は良くなる。また、ワクチン接種の効果が出てくれば、それによっても景気が良くなる。
○	その他企業〔企画業〕（経営者）	・国や県の経済支援キャンペーンに期待している。
□	農林水産業（従業者）	・春の農作業が始まった。降雪は多かったが、果物の開花は例年どおりの予想なので、収穫には期待が持てる。
□	食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まったが、すぐに人の動きが良くなるとは思えない。少し時間が掛かるため、状況はそれほど良くなるはない。
□	食料品製造業（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種開始で状況が好転してほしいが、現状では良い要素が見当たらないので、悪い状況に変わりはないとみている。
□	窯業・土石製品製造業（役員）	・新型コロナウイルスが終息しない状況では好転は期待できない。市民への迅速なワクチン接種の広がり期待している。東京オリンピックが開催できるかどうか景気判断には重要な要素である。当業界は次年度も前年比85%程度の需要見込みと厳しい状況である。
□	輸送業（経営者）	・2～3か月先も景気はまだ回復していないと予想する。6か月先であれば、ワクチン接種が一般国民にも実施されていると思うので期待をしている。
□	通信業（営業担当）	・年度末に掛けてまだ厳しい状況は続くと思われるが、年度明けに向けて新たな施策を講じていく必要がある。
□	広告代理店（経営者）	・ワクチン接種が進み、Go Toキャンペーンが復活されれば好転のチャンスは出てくる。
□	司法書士	・現時点でやや低迷しているものの、住宅を購入する層の経済動向は底堅く、コロナ禍においてもさほど大きな変化がないようにみえる。
□	公認会計士	・小売業、飲食業等は新型コロナウイルスの感染が落ち着かない限り、前の水準に戻るのには難しく、低空飛行のまま推移するとみている。建設業は全体的には好調が維持されそうであるが、全体的には変わらないとみている。
□	コピーサービス業（従業員）	・新型コロナウイルスに慣れてきたせいか、特別な対策をすることもなく、コロナ禍前と変わらない感じがする。多少、前年に出張関係が減ったことで旅費の予算が余っている客が年度末に向けて別の科目へ振り替えて購入する動きが出てきているが、大きく販売額を増やすほどでもない。
□	その他非製造業〔飲食品卸売業〕（経営者）	・緊急事態宣言が解除されたとしても模様眺めが続くのではないかと。Go To Travelキャンペーンの再開のめどは現時点で立たないが、それが反転のきっかけになるかもしれない。
□	その他企業〔協同組合〕（職員）	・見積案件及び受注量は微増傾向にあるが、依然として同業他社との価格競争が厳しい。加えて長短等により納期対応に答えられない場面が目立ち、売上増には結び付いていない。
▲	農林水産業（従業者）	・大雪による残雪の長期化により、今後の農作業の適期管理が難しくなり、ひいては収入減少につながる事が予想される。
▲	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・繁忙期が終了するので、5月以降は新型コロナウイルス終息次第になる。
▲	出版・印刷・同関連産業（経理担当）	・受注残が前年より10%以上低くなっており、景気はやや悪くなるとみている。

	▲	建設業（企画担当）	・新型コロナウイルスのワクチンが広く行き渡らない限り、景気が劇的に回復することはない。また、一部地域での緊急事態宣言解除の前倒しは再び感染増加につながる可能性が高い。
	▲	金融業（営業担当）	・新型コロナウイルス感染が収束するまでは、厳しい状況が続くとみられる。
	×	*	*
	◎	—	—
雇用 関連 (東北)	○	人材派遣会社（社員）	・依頼があった13日の福島沖地震の被災対応派遣業務には、短期だけでなく3か月の中期依頼も含まれている。また、例年の年度末需要も前年並みには届かないまでも案件化してきているため、2～3か月先の景気は悪くない。
	○	人材派遣会社（社員）	・ニューノーマル時代に向けて、中堅中小企業が新しい事業に着手し始めているケースが増えてきている。それに伴い、人材を採用する動きも徐々に出ており、問合せが増えてきている。派遣ではなくて正社員で採用したいとか、新卒採用を復活させるなどの話が、それほど業界に偏りなく出てきている。
	○	人材派遣会社（社員）	・ワクチン接種開始、新型コロナウイルス感染の収束、東京オリンピックなど、流動的ではあるが回復の方向に向かうと考えている。
	○	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第だが、感染者数減やワクチン接種開始への期待により、前年ほどの落ち込みもなく、多少上向き感が出てくるとみている。ただし、本来の水準に戻るまでの景気回復状態になるとはいえない。
	○	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・東京オリンピックの行方次第である。また、首都圏の花見シーズンに感染者が増加しなければ、大規模な感染まん延を免れた地方では人の動きが一気に活発になるとみている。前年は中止となったイベント等も入場制限などで新たな様式を探りながら開催される方向になっている。
	□	人材派遣会社（社員）	・求人数や企業の事業計画の前向きな感触から、今年の10月頃からは良くなっていくとみている。全国的に新型コロナウイルスの緊急事態宣言が解除されていない点を鑑みると、2～3か月で大きく改善することはないと想定している。
	□	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスによる様子見感がある。また、地震の影響が出てくる可能性もある。
	□	人材派遣会社（社員）	・求人活動や求職活動に大きな変化が生じる理由がない。
	□	職業安定所（職員）	・雇用調整助成金の新規の休業開始の要請が、年明けからやや増えている印象を受ける。減らない状況となっている。
	□	学校〔専門学校〕	・新型コロナウイルス感染症の影響で、景気は変わらない。
	▲	職業安定所（職員）	・地域を下支えしていた大型工事が終わりつつあり、今後の宿泊、飲食業への影響が懸念される。
	▲	職業安定所（職員）	・年度末の期間満了による退職で求職者数が増えるのではないかと。求人数は多くないことから、有効求人倍率が下がるのではないかとみている。
	▲	職業安定所（職員）	・前年4月から今年1月までの新規求人数、有効求人数の動きを見ると、いずれも前年同月比で約20%減少している。しばらくこの傾向は続くと思われる。
	×	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスと東京オリンピックの影響で、景気の更なる悪化が予想される。
	×	アウトソーシング企業（社員）	・現状が大きく変わらない限り、人が集まることが難しいため、厳しい状況は続く。